



市民との対話集会（高校生世代編）

対話集会とは

「地域の課題は市民の声の中にある。」との考えのもと、現場目線で、施策を推進していくことや、多くの市民の方が、市政やまちづくりを自分事として考え、行動する気運の醸成を図ることを目的として、市民と同じ目線に立ち市政やまちづくりを語り合う場です。

今年度は、次世代の思いを紡ぐ対話集会を2回、テーマ別対話集会を6回開催しています。

テーマ別対話集会～高校生世代編～

15～18歳の高校生世代を対象に、「未来に希望がもてるまち」について語り、「だれ」が「何」をするのか、「私が出来ることは何か」について話し合いました。

日時：12月16日（土）14：00～16：00

場所：西駅交流センター

参加者：発言者10名 傍聴者15名

テーマ：①舞鶴の良いところ、良くないところ。

②舞鶴に住み続けたいか。いったん離れても戻ってきたいか。

③舞鶴を盛り上げるために「私」が出来ることは何か。



主な意見（全容はグラレコをご覧ください！）

【舞鶴の良いところ】

- 人が多すぎない。
- 自然が多い。ほどよい田舎。
- 近所の方、道行く人との交流がある。
- 東・中・西地区の特徴がある。
- 海がある。

【舞鶴の良くないところ】

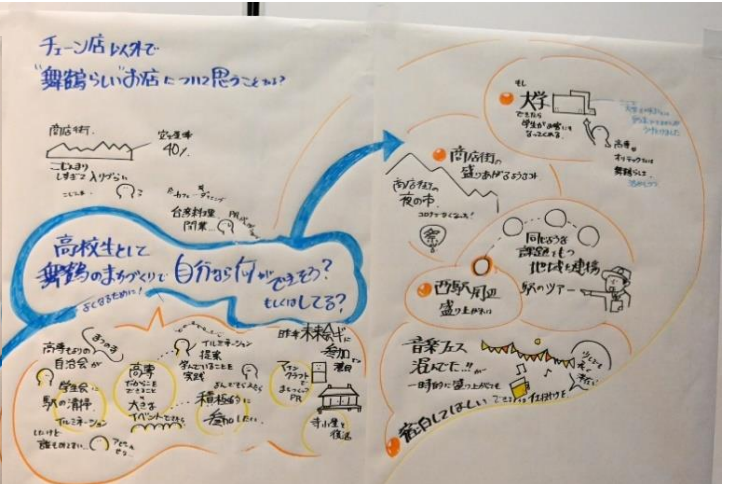
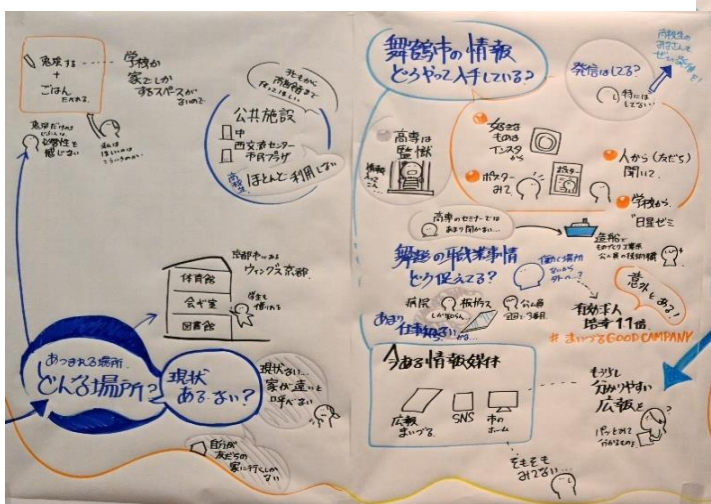
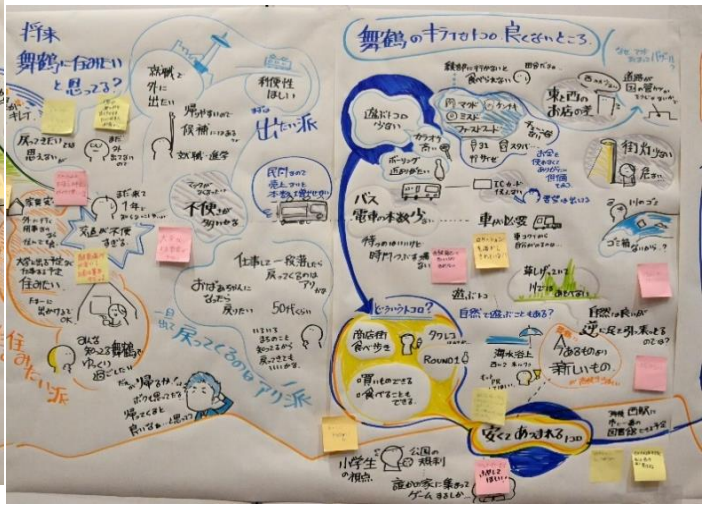
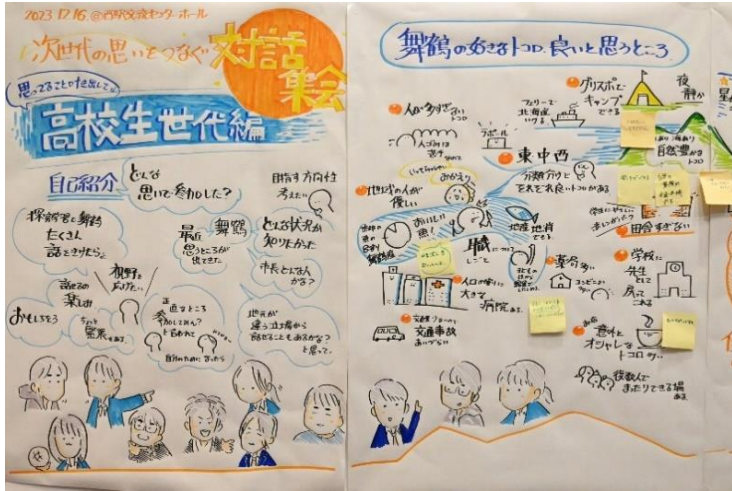
- 遊ぶところがない。自然より、遊ぶところが欲しい。
- 新しいものに魅かれる。
- 電車の本数が少ない。電車を待つ場所がない。

【舞鶴に戻ってきたいと思うか】

- 一度外に出てから考えたい。
- 50歳くらいになったら考えるかも。
- 不便さを感じるので住みたいとは思えない。（交通アクセスが悪い、ファストフードがない）
- 舞鶴を離れたくないと思うので、高校卒業後就職予定。

【舞鶴を盛り上げるために「私は何が出来るか】

- 舞鶴高専では、地元自治会からの声かけで松尾寺駅の清掃をしている。イルミネーションもしたが、見に来る人がいなかったと聞いている。情報発信してほしい。
- 舞鶴高専で学んだ技術を使った取組みをしたい。
- 高校生みらい会議に参加し、まちづくりの提案を行った。



グラフィックレコーディング
グラフィックレコーディングとは、会議中での議論を図式や絵などを使ってリアルタイムで可視化し記録する技術です。重要な要素をビジュアル化することで、内容を俯瞰的、直感的に捉えることができ、議論の活性化に繋がるものとして活用されています。

